3/27･『みんなの学校』上映会アンケート集計結果

1. 本日の上映会をどちらでお知りになりましたか？（Oは１つだけ）

1．くるみHP	1	
2．くるみFacebook	1	
3．上映会のチラシ	3	
4．「みんなの学校」HP	10	
5．友人/知人の紹介	24	
6．その他	13	
	52	

2. お住まいはどちらですか？（Oは１つだけ）

1．川崎市内	23	
2．横浜市内	12	
3．それ以外の神奈川県内	4	
4．東京都内	9	
5．その他	5	静岡2名、千葉2名、埼玉1名
	53	

3. 本日の上映会は、いかがでしたか？

1．大変満足	41	84%
2．満足	8	16%
3．どちらでもない	0	
4．不満	0	
5．とても不満	0	
	49	

4. スタッフの対応については、いかがでしたか？

1．大変満足	38	75%
2．満足	13	25%
3．どちらでもない	0	
4．不満	0	
5．とても不満	0	
	51	

５．映画「みんなの学校」を観る前と、観た後で、どんな変化がありましたか？ 明日からこうしてみよう、と思うことがあれば教えてください。

支援級がある学校が多くありますが、共に学ぶところで子・親・先生・社会のすべてが育つことに感動です。
目の前の一人一人の当たり前と、自分自身の固定概念をみんなで考えられる世の中になっていける。きっと未来はみんなで生きやすい社会になると思いました。
こんな学校があると本当に素晴らしい
校長先生の器の大きさと暖かさに触れて、自分は何ができるのかと考えさせられました。
小学校の副校長（1年目）です。一人も見捨てないというのは簡単ですが、ここまで粘り強く一人一人と語り合うのはできていなかったと思います。相手を信じることを続けていきたいと思います。
できない人がいたら、やさしく教えたいと思う。
見えない成長をもっと想像したり聞いてみたいと思いました。
求めるよりも与えられる人になる。
利他の実践の大切さを再確認しました。
子供と子供、子供と大人、つなぐだけの指導力、言葉をもった存在になりたいと感じます。イメージや方向性、自分の目標が見えました。
木村先生のご本を読んでいたので大きな驚きはなかったのですが、映像で見るとまた沁みるものがありました。
家では一瞬は本物の気持ち、学校では先生や校長の考えを聞いてみたいと思いました。
自分の考え方で物事を決めつけず、まずは相手に聞く姿勢を持とうと思いました。
一瞬を子供たちが続けられるように。自分自身も一瞬をつなげていけるように、意識していこうと思いました。
この学校に来てよかったと思ってもらえる学校にしていこうと勇気を頂きました。
子供の成長が本当にすごくて、あたたかかく支えてあげることで、自分で伸びていくのだと思いました。
周りの協力を得たいときは自分から発信していこうと思いました。
逃げないで向き合うということ。人間は変われるということ。
大事なことを教わった気がします。木村先生のことは新聞で知りましたが、より先生の取り組みが分かり、学校だけでなくこういう社会を創って行かなければと思いました。
ついて来れない子の面倒を、できる子に見させる。なんでもできる子はできない子と接しないと、理解できないから。
みんなの学校の「みんな」。みんなは一人ひとり個性の集まり。心して実行しよう。
今の教育のチャレンジ、教師の葛藤をもっと広く世の中の人に知ってほしいと思う。インクルーシブな社会は、言うのは簡単、実践のためには一体で向き合う。この環境づくりがまず大切なことと改めて感じる。
目標となる参考例として思い出すことが出来るな、と思った。
教育の大切さとともに、大人が悩み、学ぶ場の重要性を感じます。
小学校の取り組みとしては、大変良い教育と感じた。ただし中学校のパス（合格？）など解決課題が多いと思います。
くるみの活動は30年後に役に立つ活動だと感じた。
環境次第で人は大きく変わると思いました。障害は社会の側にあるのかもしれない、と思います。子供が支援級在籍中ですが、本当にもっともっと色々な方に垣根なく関わってほしいと思います。当事者としてももっと関われる方法を探したいと思います。

大空小学校のことを知りたかったのでどんな環境や先生がいるか、知ることができてよかったです。一保護者ですが学校側に協力したい。
すべてを学校や先生に任せるのではなく、親や地域も協力していかなくては、と思いました。
先生と周りのものとの関わりがとても大事だなと思いました。
一人一人の可能性を信じていく。自分が変わっていくことが大事と思った。
日本の未来に少し希望を持てるようになりました。明日から職場に来る色々な患者さん一人一人に合った対応をしてみようと思いました。
日々いろんな失敗があるけれど、それも含めてみんなで考えていかなければいけないし、絶対にあきらめないという教師の思いが必要だと思った。
すべての子供がすべての時間を共に過ごすのではなく、内容によってはその子にとって学びやすい環境も自由に選べるようなゆるやかさ、が認められる学校・社会になっていったらいいと感じました。
寄り添いを続けることはすごい支えになり、力を引き出せますね。
今は定まりません。
周囲の大人大勢の目で子供を色んな目線で見守ることの大切さ。
自分と違う人から何か学ぼうとする、そしてその人に何ができるか考える人になろうと思いました。
もっと深く、子供の言動に関わろうと思います。
校長先生の子供への接し方、考え方がとても勉強になりました。
ずっと観たかった映画でした。子育てに活かしたいです。
公教育での対応に驚きました。
子供のとる行動にとって、否定する（悪いことをしたとき）のではなく、なぜその行動をしたのか、親なりに考えて関われるようにしていきたい。
障害は当事者だけでなく、周りに理解してもらい、社会が変わっていく、ということが本当に大切なんだと思いました。
それぞれの子の個性をしっかりと受け止め、受け入れていく先生方もすばらしいと思いました。そして受け止められた子たちの晴れ晴れとした表情がとても印象的でした。このような学校・社会にしていけたらいいなと思いました。

６．本日の上映会全般について、よかったこと、心に残ったことなど教えてください。

必要のない人はいない。芝生の中で知恵を出していくことの大切さを学びました。
どんなことでも支え合う。見守り合う。現在の状況からも人と人とが関わりながら大人、子供、地域とともに学び合う環境が大切。
本人が変わっていくことも大事だけど、周囲も受け入れる姿勢で全然違うと思うし、人に対して優しく成長できるんだと感じました。
校長先生の言葉で「障害の子供のことで彼は変わってない、彼を見る目が変わった」という言葉が印象的でした。
地元で上映会ができないかと思ってきました。とても良い内容で検討したいと思います。
自ら考えて行動を促す、本気の大人の姿が印象的でした。
木村先生の本や記事は何度も読みましたが、映画を観て本当によく分かりました。この機会を作ってくださりありがとうございました。
コロナ対策バッチリでいいと思いました。
ありのままで大丈夫。これを信じる心を育てていきたいと思います。
とても静かな雰囲気で観ることが出来て良かったと思います。
みんなちがってみんないい、を思って生きていきたいです。
検温が小学生、というのがオシャレです。
学校の先生たちのさとし方、上手だと思いました。先生も学校も子供も大人も親も、みんな独りぼっちではないと感じました。
学校がみんな受け入れるということを続けていけばインクルーシブな社会になれるとのこと。保護者や地域として何ができるか考えていきたいです。
川崎区の仲間たちとこういう教育にする日本にしたいと運動しています。学校への働きかけなど校則を無くす、制服の自由化などもっと運動を広めていきたい。
子の通った保育園はインクルーシブでした。ただ小学校や保育園の保護者達は、まだみんなでとまで盛り上がってはいないので進めたいです。
当日までのメールでのアナウンスもあり丁寧に運営されていることが印象的でした。今日は良い機会をありがとうございました。
学童をスタートして一年の節目で、この映画が見られてよかったです。折に触れてみていきたいです。
多くの方々に知って頂きたい内容でした。インクルーシブ社会のためには他者理解が必要です。この映画当時よりも少しずつではありますが変化を感じます。
実際に観るのと、本を読むのは、全然違いました。上映会、ありがとうございました。
学校全体で支えていく力
今の自分に今日学んだことをどう生かせるか、これが大事なことだと思います。このような機会をありがとうございました。
ぶっ続けて２時間はきつい。40分くらいで休みを入れてもらいたい。
わかったつもりは危険。大きな声は体罰。
エンパシーを持てる子を育てるための諦めない教育に心を打たれる。インクルーシブな社会を目指す。
　これは大人の世界、今の社会全体で意識をもって向き合わなければ。当たり前に向き合えるように、との気持ちを強く持てた映画でした。
若い新任の先生の学んでいくシーンがあったが、印象に残った。
公立でここまでできることに、驚きとともに希望を感じました。貴重な機会をありがとうございました。
年度末のタイミングで上映して下さったのがすごく良かったです。学校生活を振り返ったりこれから進級の心構えに気付けることがありました。くるみの代表さんのお話が聞けて良かったです。これからもがんばってください。
障害を持つ子を変えるのではなく、周りが変わらないといけない。というところが心に残りました。
インクルーシブな社会が長い月をかけても広がっていってほしい。学校の先生や同級生、兄弟に観てほしいと思った。
スタッフの方がたくさんいらっしゃったので、対応が早くて助かりました。駅からエレベーターまでの間にも案内の方がいてくださって、何階かわからなかったので教えて頂けてありがたかったです。
一人も絶対に見捨てないという大空小学校の先生たちの思いが伝わってきて、私もこんな学校にしたいとイメージがわきました。
みんなで学び合えることがすごいですね。いないほうが良い人は一人もいない。
小さなみんなの学校を作るということ。
大空小の子供は障害児に対して偏見等なく、また先生の教育の姿勢に感動した。
サポーターに暴力をふるった子にも、校長先生が「謝りに」ではなく、「自分のことをわかってもらいに」行かせたこと。大事な点だと思いました。自分・周りの人すべてが、自分にとって大切な人なんだと感じました。
今ある自分の力をどれだけ伸ばすかの評価を大事にする。
お友達に暴力をふるってしまう子供。本人が一番しんどいんだなと感じました。その行動の裏側をきちんと見てあげたいと思いました。
校長先生のお言葉、一言一言が心に残りました。
現実の学校の状況との格差を感じますが、教員の研修などに活用してもらいたいと感じました。
川崎でも大空小学校のようにわが子の居場所となる学校があるといいです。
とってもとっても素敵な映画でした。たくさんの人に観てほしい。一人ひとりの気持ちが少し変わるだけで、まったく違う世の中になるだろうな、という期待を込めて。
素晴らしい人間教育だと思いました。子供の時から社会には様々な人がいるということを学べたら（体験）、様々なマイノリティの人たちが生きやすい社会に近づいていけるのでは、と感じました。
　子供に関わる先生方もすばらしいです。上映会ありがとうございました。
学校に関わる全ての人が、学び合っていく場所ということを、この映画を観て感じ、考える機会を与えて頂きました。ありがとうございました。
校長先生の言葉で救われる子供は、観ていてうれしいですね。流さない、向き合う姿勢は大切だと思いました。懇談会で元校長先生の知ったかぶりの言動が引っかかりました。
　一言で学校を表す裏にどれだけの苦労があったかが、すごく軽く聞こえて少しさみしかったです。